

英語学科		教授	原 成吉	大学院の授業担当 有
<b>教育活動</b>				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	外国語科目(英語、RS I.II)、(英語専門講読)、(演習)	2011年～現在	1年生のReading Strategiesや英語専門講読では、ペアを作り授業のプレゼンを担当してもらっている。担当のペアは、メーリングリストを使い、事前に他の受講生にプレゼンの資料や疑問点を送る。それを基にして、授業では活発なディスカッションを行っている。メーリングリストを使い、毎回、授業の理解度をチェックしている。演習では、春、夏それぞれ4～5泊の合宿を行い、研究対象への深い理解とゼミ員同士のコミュニケーションを心がけている。	
2	講義科目(英語圏文学文化特殊講義)	2013年度	今年度のテーマは、「サンフランシスコを中心とした詩と文化」なので、サンフランシスコをテーマにした歌と詩のテキストを送り、疑問やコメントを持って出席するよう受講生に呼びかけている。また理解度をチェックするために、講義終了10分前に受講生からの質問を受けるようにしている。	
3	大学院科目(米文学演習/研究)	2006年～現在	個々の学生の研究テーマが異なるため、授業以外の時間や電子メールを使い、研究の過程をチェックするようにしている。授業以外にも、同じ専攻の他大学の院生や研究者との研究会・読書会を開き、研究レベルの向上を心がけている。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
<b>学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)</b>				
年月日		活動内容		
1985年4月～現在		日本英文学会会員 同学会誌『英文学研究』編集委員(1999年4月～2002年3月)		
1982年4月～現在		日本アメリカ文学会会員 同学会誌『アメリカ文学研究』編集委員(2001年4月～2004年3月) 同学会誌『アメリカ文学研究』編集委員(2012年4月～現在)		
1982年4月～現在		日本エズラ・パウンド協会会員 同学会理事、『Ezra Pound Review』編集委員(1998年4月～現在)		
1998年～現在		Modern Language Association(アメリカ)会員		
1983年～現在		The Society of William Carlos Williams(アメリカ)会員		
1985年～現在		法政大学英文学会会員		
2001年6月		日本アメリカ文学会東京支部月例会、シンポジウム「San Francisco Poetry Renaissance」講師(慶応大学にて)		
2001年11月		日本エズラ・パウンド協会全国大会、研究発表「ビルとエズの手紙—『パターソン』の詩人が見たEPの詩学」(愛知学院大学にて)		
2004年3月		日本アメリカ文学会東京支部月例会、研究発表「道を外れて道を行く—ゲーリー・スナイダーの野生の文学」(慶応大学にて)		
2005年7月		新座市市民大学講座講師(1回)		

英語学科	教授	原 成吉	大学院の授業担当 有
2006年5月	日本英文学会全国大会 シンポジウム「多重化するジャンルの詩学」講師(中京大学名古屋キャンパスにて)		
2011年5月	日本英文学会全国大会 シンポジウム「20世紀後期アメリカ詩の世界観の生成——ブラックマウンテンから環太平洋へ」司会／講師(北九州市立大学にて)		
<b>その他</b>			
司会: 「ポエトリー・リーディング 太平洋をつなぐ詩の夕べ ゲーリー・スナイダー&谷川俊太郎」 新宿明治安田生命ホール 2011年10月29日			